

## 長期漁海況予報（令和6年1月～6月の予測）について

令和5年12月20日～21日に令和5年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、12月25日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。（予報本文 URL：[https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/files/20231225\\_ukiuo-pac-2nd.pdf](https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/files/20231225_ukiuo-pac-2nd.pdf)）

## 1. 海況

## (1) 黒潮（潮岬以東）

- ・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。
- ・蛇行北上部は、概ね伊豆諸島海域の西側に位置する。
- ・房総沖では、接岸傾向で推移するものの、一時的に離岸することがある。

## (2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・黒潮から暖水が波及しやすい。

## (3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。

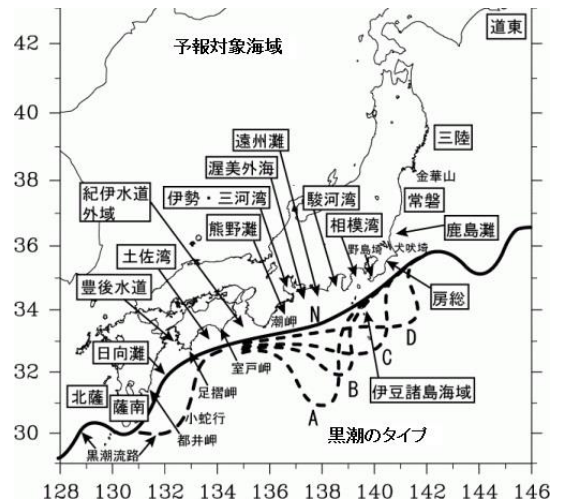


図. 予報対象海域および黒潮の流型

## 2. 漁況

## (1) マサバ・ゴマサバ（犬吠埼沖～三陸海域：まき網、定置網、底びき網）

- ①来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年を下回る。6歳以上は前年を上回る。マサバはまき網では低調であった前年並、定置網、底びき網では前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並。
- ②漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠埼沖～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網では1月、2月および4月以降に漁獲される。三陸海域の底びき網では期を通じて漁獲される。
- ③魚体 [尾叉長]：マサバは期を通じて22cm～33cm（3歳以下、体重100g～400g前後）主体に、1月、2月および4月以降は27cm～39cm（4歳以上、200g～700g前後）も漁獲される。

## (2) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：前年並～下回る。
- ②漁期・漁場：まき網の漁場は、1月～5月は犬吠埼沖～常磐海域で形成され、5月下旬以降は三陸海域、6月下旬には道東海域にも形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて漁獲される。
- ③魚体 [被鱗体長]：10cm～16cm 前後（1歳魚、体重12g～45g前後）、13cm～19cm前後（2歳魚、25g～75g前後）、16cm～20cm前後（3歳魚、45g～90g前後）、17cm以上（4歳魚、60g前後～）。

## (3) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：房総海域では1月～3月は前年並だが、4月～6月は予測困難。三陸南部海域では前年を上回る。常磐海域、三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。道東海域では主たる漁獲対象とならない。
- ②漁期・漁場：房総海域の2そうまき網により1月～3月に期を通じて漁獲されるが、4月～6月は現時点では予測が困難。三陸南部海域の定置網により2月までと5月以降に漁獲される。常磐～房総海域の1そうまき網による主な漁獲対象にはならない。
- ③魚体 [被鱗体長]：体長7cm～11cmの1歳魚（体重4g～13g前後）を主体に、9cm～13cmの2歳魚（8g～20g前後）、12cm～14cmの3歳魚（15g～20g前後）が漁獲される。

(回遊性資源部)

[次号予告] R6. 1. 12発行の「水産の窓」は「令和6年1月の海況と今後の予測」を予定しています。